（別添資料１）

事業所名　児童デイサービス　ひかりの丘

支援プログラム

作成日　令和8 年 6 月 22 日

法人（事業所）理念	私たちが目指すのは、障がいがあるかどうかにかかわらず、その人らしさを尊重し、助け合いながらともに「共生」していく社会です。1989年に社会福祉法人とよた光の里を設立して以来、「ともに生きる社会」の実現を柱としてさまざまに地域との関わりを結んでまいりました。私たちはすべての人が助け合い、ともに生きていく社会の実現をスタンスとし、 さらには地域社会をつなぐ懸け橋として、これからも挑戦を続けていきます。					
支援方針	利用者の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ必要な日常生活上の介護及び食事、機能訓練、作業活動、創作活動等を提供することによって利用者の自立した生活と社会参加の促進、並びに家族の身体的、精神的負担の軽減をはかります。また地域との結びつきを重視し、利用者の所在する市町村、保健医療サービス及び福祉サービスを提供する者との連携に努めます。					
営業時間	毎週月曜日～金曜日　8 時 30 分から 17 時 30 分まで			送迎実施の有無	あり（○）　なし	※長期休み・祝日に関しては送迎なし
	支　援　内　容					
本人支援　健康・生活	【健康状態の把握】毎回の体温測定・気分把握により、健康で安全な生活を作り出すことを支援する。とくに意思表示が困難である子どもについては、障がいの特性に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよ、きめ細かな観察を行う。					
本人支援　運動・感覚	【運動・動作の基本的技能の向上】特に車いすの利用者に関して、トイレに行く際歩いてむかうことで、移動能力の向上や、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。					
本人支援　認知・行動	【感覚や認知の活用】ゲームや、遊び等を通して、物を握ったり、離したりといった、投げたりといった基本的な動きをヘルパーが補助などをしながら行い、保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう支援する。					
本人支援　言語コミュニケーション	【言語の形成と活用】カードをつかむ、棒をひっぱる、ボールを離すといった行動を、声掛けをしつつ繰り返すことで体験と言語を結び付け、コミュニケーション能力の向上のための支援を行う。					
本人支援　人間関係社会性	【仲間づくりと集団への参加】ルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、順番を守ることや、役割分担をすることを促し、社会性の発達を支援する					
家族支援	家庭内の困りごとや課題を面談等を通じて、共有し、必要に応じて助言等を行う			移行支援	移行する事業所に対して、必要に応じて支援内容等の具体的な関わり方について情報共有を行う	
地域支援・地域連携	各家庭が、地域の中に居場所を持つことができるよう、必要に応じて関係機関と連携を図る			職員の質の向上	各種研修への参加を促し、職員個々のスキルの向上を目指す	
主な行事等	ひかりの丘まつり、避難訓練					